

横こだち仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】令和 2年 3月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジオリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	ジオリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約75~100 m ²
	セーフシーラー JS-800	1液水系カチオンシーラー	16kg/缶	約80~106 m ²
主材	ジオリパットアルファ JP-100 シリーズ (ジオリパットノンフリーズ JPW-100 シリーズ) 標準色 JP(W)-100T□□□□ (□…数字) 特注色 JP(W)-100△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約7 m ²

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジオリパットノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジオリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

<主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・専用ほうき (JR-62X)
- ・ヘッドカットローラー (平面用 ジオリパットローラー JR-26)
(隅用 ジオリパットローラー JR-27)

<下地調整>

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<こだち仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410 の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JP(W)-100 シリーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JP(W)-100シリーズ	20kg
塗 布 量	約2.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 平滑に材料を配り塗りしてください。	

追いかけて（5分以内）

4. パターン付け

- ・配り塗りした主材が乾燥しないうちに、パターン付け専用ほうき JR-62X で軽く押さえる様にし、左端から右へ引いてパターン付けを行ってください。右端部は前もって右から左にパターンを付けておくと仕上がりがキレイに納まります (図-1)。
- ・塗り継ぎの部分は、出来るだけ JR-62X の目を合わせ、1回ごとに高さを変え、ちどり状に塗り継ぎをし、一カ所に集中しないようにしてください (図-2)。
- ・JR-62X は水で常に濡らし、ホウキに付着したジョリパットはその都度 (頻繁に) 取り除くようにしてください。

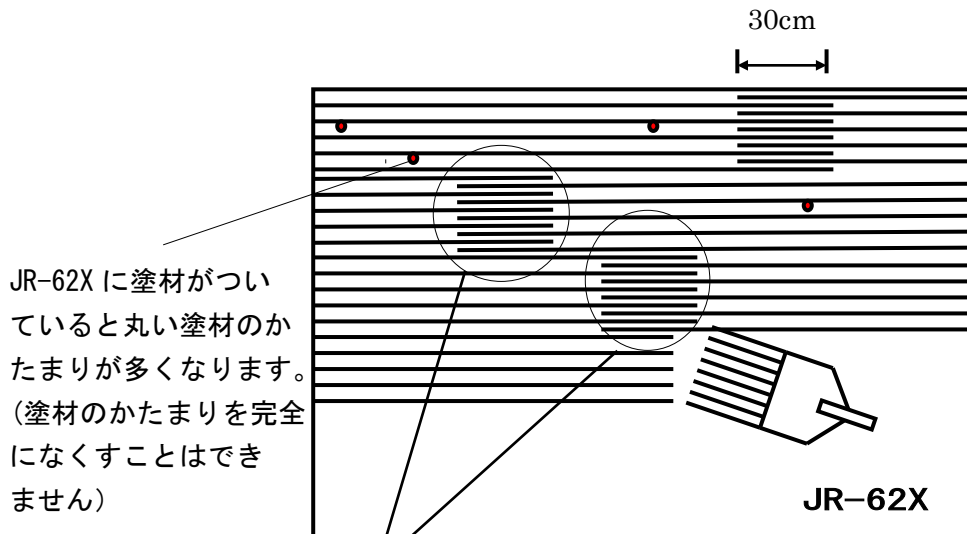
追いかけて (5分以内)

5. ヘッドカット

- ・灯油に浸したカットローラー (JR-26,27) で軽く押さえるようにしてください。強く押さえるとパターンが潰れるため注意してください。

<施工のポイント>

- ・30cm ぐらい重ね、つなぎ部分をわかりにくくするときれいに仕上がります。



JR-62X に塗材がついていると丸い塗材のかたまりが多くなります。(塗材のかたまりを完全になくすことはできません)

パターンのつなぎはちどり状にする。(同じ箇所につながらない)

図-1

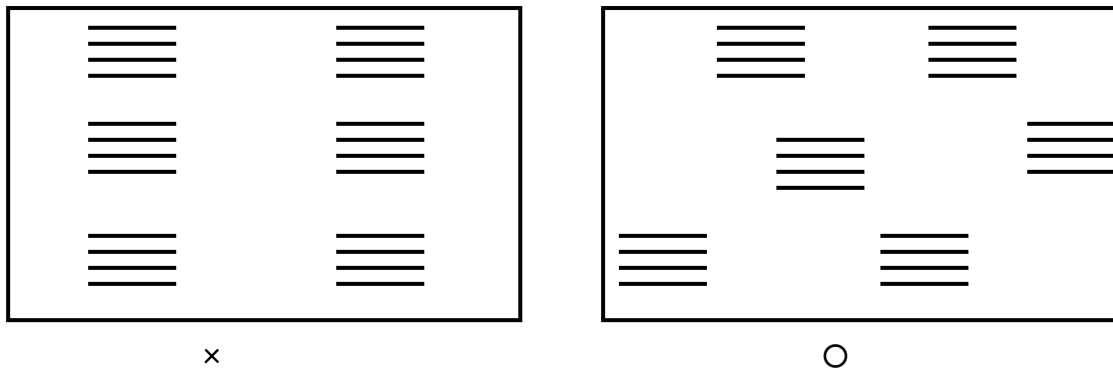


図-2

- ・ JR-62X の先端に付着した JP (W) -100 シリーズは、濡れウエスなどで取り除き、常にきれいに保ってください（ジョリパットの玉が壁面に残りにくくするため）。
- ・ 配り塗りはできるだけ均一に配って下さい。配り塗りが不均一の場合、パターンにムラが出る場合があります。
- ・ ほうきは必ず JR-62X を使用して下さい。他のほうきではパターンが出ない場合があります。
- ・ 塗布量が少ない場合、溝が浅くなり、パターンがはっきりとでなくなります。

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットシリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。

JP (W) 100-33-02
(JP (W) -100 こだち)

- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上